

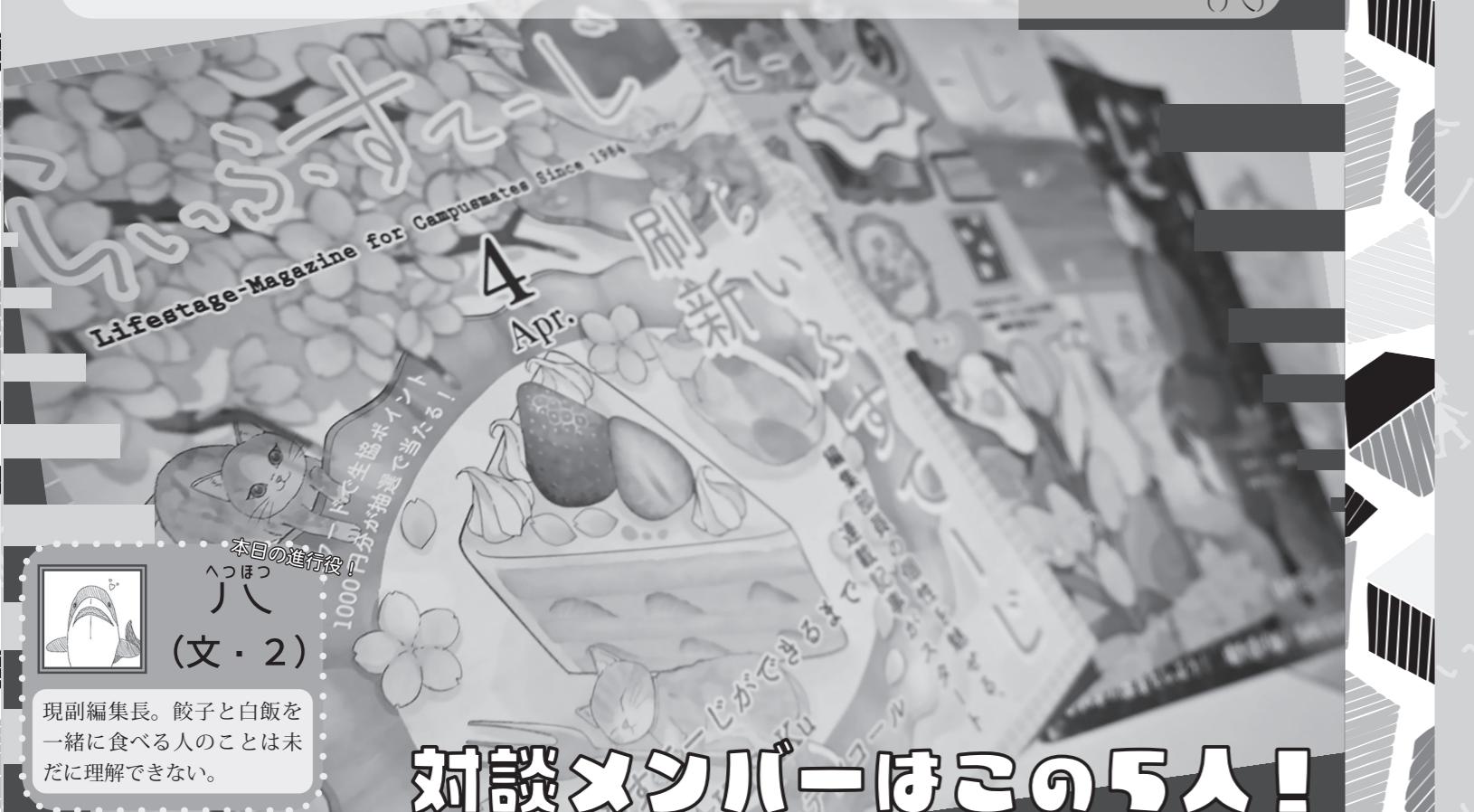
対談！

SLI

いまま（^）
の
これから

『らいふすてーじ』はいままでも、これからも、あなたと共に。

2025年度は、あなたにとってどんな年だったでしょうか。『らいふすてーじ』にとって、2025年度は一つの結節点となる年でした。ミニ記事の創設やInstagramの開設、ポスターの掲示開始。今回は、そんな2025年度『らいふすてーじ』に携わった編集部員の中から、執筆者ノへを含めた5名をお呼びし、2025年度『らいふすてーじ』を振り返る座談会をおこないました（10月実施）。読者の皆様、いつもご愛読ありがとうございます。そして、これからもどうぞよろしく。そんな気持ちをこめて、本記事をあなたにお届けします。（ノへ）



対談メンバーはこの5人！

雛鳥
(文・2)

現編集長。餃子と白飯と一緒に食べる人のことは未だに理解できない。

stat
(工・1)

新進気鋭の1回生！ 予定がない休日の昼ごはんはだいたい明太子パスタ。

みずおにぎり
(医・2)

インスタ担当。白いシチューと白米は合わない気がする。ビーフシチューは合う。

でこぽん
(文・3)

前編集長。餃子と白米をビールと一緒に流し込む怪物。

はみだし
すてーじ

あけましておめでとうございます！ (from 2025年11月の自分)
⇒あけましておめでとうございます！ 今年もよろしくお願いします！

(農・院 いわ)
(2026年もご愛読いただけると嬉しいです；編)

ノへ（以下、ノ）：皆さん、本日はお集まりいただきありがとうございます。進行のノへです。よろしくお願ひします。では、早速始めていきましょう！

取り組み編

2025年1月号を振り返って

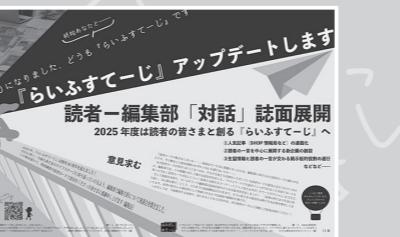
2025年1月号「終始あなたと—40になりました、どうも『らいふすてーじ』です」では、

①人気記事（SHOP情報局など）の連載化

②読者の一言を中心に展開する新企画の創設

③生協情報と読者の一言が交わる掲示板的役割の遂行

の3つが2025年度らいふすてーじの目標として挙げられていました。まずは、これらを踏まえ、今年の『らいふすてーじ』について振り返っていきたいと思います。



▲2025年1月号「終始あなたと—40になりました、どうも『らいふすてーじ』です」

でこぽん（以下、で）：これは僕が書いた記事ですね。執筆者としては①②③全部意識したんですけど、「①人気記事の連載化」「②新企画の創設」は残念ながら実現せず。ただ、「③生協情報と読者の一言が交わる掲示板的役割の遂行」との関連で言うと、例えば5月号「マイっちゃんよ 米値上がり」は大きかったかな。やっぱり読者は組合員でもあるから、そこで展開していくなくちゃいけない新企画でしたね。生協の機関誌とはいえ、ただ生協に対してプラスのことを言えば良い訳じゃない。まずは、学生が生協の利用について感じてる生の声を、批判的な意見も含めて記事にすること。

で：そして、その後展開していく新しい一步も広告すること。その2つを意識しました。他の記事でも、『らいふすてーじ』に取り上げてもらうことで相手の組織に還元しつつ、その中に生協の機関誌っていう立場を潜り込ませた。そういう点では意識したかな。

ノ：「米」記事は、ちょうど米の値上がりが世間で関心事になってた時期なので我々の生活に直結してたっていうのと、生協の機関誌としての役割も兼ねていて、とても良い記事だと思ってました。



▲5月号
「マイっちゃんよ
米値上がり」

で：皆さんはどうな感じですか？
ノ：現編集長としてはどうですか？
雛鳥（以下、雛）：そうですねえ。とりあえず毎月ミニ記事（1/2または1ページの記事）のコーナーは作るようにしてたかな。実はミニ記事は未読率が低い傾向があって、読者の目を引くのかなと。

あと、新入部員とか、記事を書いたことのない人が初めに取り組みやすい場を作れたのは、編集部員にとっても良かったかな。それこそミニ記事では「目から鱗」のコーナーが多くて。自分の好きなことについて書けるっていうのもらいふの良いところだからね。

ノ：なるほど。「編集部員紹介」についてはどうですか？

雛：編集部員紹介は、らいふを京大生が書いているという事実を読者が知らない、っていう前提のもと始めました。学部と回生が明らかになることで、読者から見た編集部員っていうのが新たな像としてクリアに出てくるのと、編集部員から見た編集部員像もリアルに伝えられたら良いなと思いました。

ノ：読力（読者カード）の評判も結構高……まあ読まれてるかくらい（笑）低かったことはないですね。これはぜひ読者の意見が聞きたい。（ぜひ読力に感想お願いします！）

で：ミニ記事常連のみずおにぎりさんはどうですか？ ほぼ毎月書いてるけど。みずおにぎり（以下、み）：2ページとか書くのはちょっとハードル高かったけど、ミニ記事ができたおかげで、書きたいことを気軽に書けるようになつたかもしれない。今も授業が忙いけど、1ページとか1/2ページの記事なら書けるし、楽しいかな～。

ノ：楽しいのが1番ですよ！

雛：そうだね。もちろん読者の存在を意識しながら書いてはいるけど、やっぱり編集部員が楽しく書けるっていうのが1番大事だから。それがあつての『らいふすてーじ』だし。

ノ：かっこよすぎるね。statはまだ記事は書いてないんだっけ。

stat（以下、S）：自分はまだです。クロス（クロスワード）と十色（十人十色）だけ。でも確かにミニ記事があることで、記事を書くハードルはだいぶ下がるなと思います。実際に同期3人は1/2ページ記事から始めたし。

ノ：そっか確かに。じゃあ新入部員の入門記事として、すごいよく機能している。嬉しいところですね。

で：言われてみればそうやな。

Instagramについて

2025年3月に始動したらいふすてーじ編集部公式Instagram。読者の皆さんには気づいていましたか？ 元々X（旧Twitter）での広報活動はおこなっていたものの、Instagramを用いての広報活動は、実は今年が初！ 今回は、編集部のインスタ担当・みずおにぎりとともにそのウラ側に迫ります。



◆らいふすてーじ編集部公式Instagram
はこちから！

（総・4 たけのこ）
(たけのこ派；編)

ノ：インスタ、毎回こだわってるよね。
み：まず、今まで自分がストーリーしか
あげたことなかったから、投稿をあげ
るにあたって素人感が出ないと良いな
と思って（笑）読者に見てもらえる
ように、編集アプリも調べたり。

ノ：あれ全部スマホで作ったとは思え
ない。デザインもすごい凝ってるけど、
全部自分で考えた？

み：背景はとりあえず、今月号の表紙を
薄くしたやつを背景にして。あ、でも
最近かな。なんかインスタの投稿一覧
が前まで正方形だったけど、縦長に
なってない？

一同：なってるなってる。

み：投稿は全部正方形で作ってるから、
一覧では表示が縦長になっちゃって。
最近意識してるのは、「〇月号配布開始
しました」みたいな時に、あんまり
端に寄せると文字が切れちゃうから、
できるだけ文字を真ん中に寄せてるか
も。

ノ：へえ～。

で：いや、ほんまに見ててそう思うよ。「こ
の情報何？」みたいなやつ一つもない
もん。全部ちゃんと分かる。

み：他にもそういう、「これはこうした
方が良いな」みたいなことをちょっと
ずつ積み重ねていったら、最初の投稿
と一番最近の投稿、意外とちょっと変
わってるかもしれない。文字の大きさ
とか、中央寄りになったりとか。あと
は……うーん、言語化できません（笑）



▲初期の投稿（左）と最近の投稿（右）。
こうして見ると、確かに変わっているかも？

はみだし
すてーじ

夏と違い、寒さ対策は軽視されがち
⇒絶賛凍え中なんですがほんとに……？

み：あとは流行ってる曲とか、投稿によ
く使われてる曲とか、投稿に曲つけた
ら他のユーザーに表示されやすくなる
みたいな。

ノ：あれ、趣味で入れてるんだと思ってた。
み：正直趣味もある（笑）好きな曲で、
かつ投稿に使われてる回数が多いやつ
を使ってる。毎回何の曲使ったかを書
いといて、アーティストも被らないよ
うに。

で：すごい。D.J.やな（笑）

ノ：投稿関連で言うと、表紙のタイムラ
ップとかどうですか？
み：リールは投稿よりもフォロワーじゃ
ない人が閲覧する数が多くて。
ノ：へえ～実際リールは他の投稿より伸
びてたりするの？

み：それが……そういうわけでもないか
ら……。
ノ：難しいな……いいねしないだけで見
られてはいると思うんだよね。

み：でも閲覧数は最初の頃から伸びて
から、ぼちぼちね。このまま有名になっ
て欲しいですね。

雛：目指せフォロワー1,000で！

その他の取り組み

ノ：他には、十色右ページのはみだし（は
みだしすてーじ）が、次回予告の「ね
くすとすてーじ」に変わったりしま
したね。

み：「ねくすとすてーじ」って言ったの
誰でしたっけ？

で：僕です！

一同：おお!!

み：「それだ！」って思いました。

で：「はみだしすてーじ」にちなんで、「ね
くすとすてーじ」にしちゃおうぜみた
いな。これでもし他に「僕が言った」つ
ていう人が出てきたら、タイマンです
ね（笑）

ノ：読者の皆さん気づいてたかな？

雛：でもはみだし見るの楽しいってい
う読者も多いよね。そのまま流れよう
に見てほしい。

で：クロスの下にあるからね。さすがに
クロス見て、次回予告見て、「ねくす
とすてーじ」を……って。

ノ：あとは、今年から始めたポスターと
手配り。大変でしたね。

雛：これは本当に大変でした。
ノ：新規読者を狙った取り組みでしたが、
手配りは誰も受け取ってくれない（泣）
特に中央食堂！

み：ほんとにメンタルが削っていく。
雛：吉田食堂は1回生が多いからか、結
構受け取ってくれるけどね。

ノ：編集部員のコネでほぼ受け取っても
らう（笑）あとポスターですね。

雛：ポスターも大変でしたね。生協の各
店舗にメール送って、大丈夫ですかって
聞いて。ポスターの裏には編集部員
の血と涙が……みたいな（笑）裏で
色々やって実現してるっていうのもある。

ノ：そうだね。ぜひ注目してほしい。い
や注目はしなくてもいいけど。

S：冊子を取ってください！

雛：やっぱりらいふって置いてある位置
がマジで見えにくいから、ポスターに
よって配置を知つたら嬉しい。
手配りは、ほぼ叫びながらずっと配つ
てる。以前読力で「配ってる皆様いま
したね」ってあったけど、頑張って配つ
てます。

ノ：本当にそうだね。ちゃんと書いてる
人がいますよっていうのをアピールす
る場でもあったから。

雛：受け取つてもらえなかつたとしても、
『らいふすてーじ』っていう存在だけ
でも知つてもらえたうと思ってやって
る部分もある。頑張りましょうね。

ノ：作るのも配るのも頑張ります！



▲ポスター（左）と吉田食堂前での手配りの様
子（右）

（農・3 二尺三寸）
(雪ニモ夏ノ暑サニモマケテ……；編)

記録編

自分が書いた記事について

ノ：自分は6月号「ぶんこもについて知つ
てみない？」ですね。1番頑張りました。
あと実はエッセイも書いて、ぶん
こもHPに寄稿させていただいてます。
このご縁があつて、ぶんこもから「持
ち込み企画も大歓迎です」っていう
メールも頂いたりして。

雛：あれはめっちゃ頑張ってたよね。イ
ンタビューって大変だけど、やっぱり
関係性を作れるからね。

ノ：それも大きかった。実際6月号はぶ
んこもに置いてもらつたりして。らい
ふにも貢献できて、嬉しいですね。
でこほんさんはどうですか？



▲ぶんこもに寄稿させていただいたエッセイはこ
ちらから読めます！（左：ノ＼ 右：でこほん）

で：今年僕が書いた記事は、基本的に
読者や他組織から依頼があった「書か
なくちゃいけない」記事だったわけだ
けど、特にっていうのであれば、やっ
ぱり「米」記事は外せないかな。あと
個人的に言つたら、6月号「島風」。
これもそもそもは、JYMAの金原さ
んからの依頼で書き始めた記事だけど、
戦後80年だし、沖縄県民って京大に
おいて少ないし。僕も沖縄県民なわけ
だけど、色々な人がいる京大で、色々
な意見が飛び交う中で、じゃあ自分が
どうそれを吸収するのかっていうとこ
ろで、新たに考えてもらうきっかけと
して、ちゃんと自分の中で書けたのが
良かったかな。

ノ：あれも良い記事でしたね。statはど
う？

で：初めての記事も世に出て、読者評価
も来てるもんね。実際書いてどうだつ
た？

はみだし
すてーじ

今年もクリぼっちかなあ
⇒安心してください。らいふすてーじはそんなあなたにも寄り添いますよ
(そもそもクリスマスに1人でいるだけこんなに糾弾される世の中がおかしい；編)

S：クロスについては、負担的には思つ
た通りぐらいの感じで。最初に書くも
のとしては、ちょうど良かったと思つ
てます。実際に作つて楽しかったし。
あとは十色。こっちの方が、個人的に
は自信作というか。ほんまに自分が書
いたんかっていうぐらい、はっちゃけ
てましたね（笑）今見返して思った
のは、（本名）とstatって別の人格な
んじゃないかっていう。記事書くときは
思考が違うかもしれない。文面の上
だとははっちゃけられるというか。

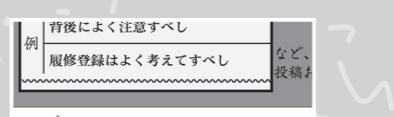
で：気持ち分かる。

雛：「ねくすとすてーじ」にも「受け取つ
てくださいね♡」って書いてたもんね
(笑) すごいはっちゃけて良いなつ
て思った。

ノ：意外な一面が見られて嬉しいですね。

S：ついでに言うと、十色は面白さと、
自然な流れの両立が結構難しかった。

雛：確かにね。どれを採用するかとかも
継ぎはぎだし難しいよね。でも、十色
は毎回評価高いから、読者の反応が樂
しみですね。11月号もどうなるかな。



▲11月号の「ねくすとすてーじ」より。
「受け取つてくださいね♡」の文字が。

ノ：みずおにぎりは？

み：私は趣味に走つて書きたいやつを書
いたかな～。今年は取つた般教の影響
で、西洋絵画とか、ギリシャ神話とか
聖書とか、神話系に結構走つて。そし
たら他の神話も気になって、日本神話
も書いて、今度はエジプト神話も書いて
……みたいな。でも本来ミニ記事つ
て読者の声に応えるものなのに、趣
味に走りすぎたなって思つて。それで
11月号で読者のリクエストに応えて、
ニックネームの由来をまとめてみたり。

で：あれ面白いよね。5月号と10月号

の「西洋絵画」記事は、ちょうど行楽
シーズンにかぶつってるから、外出の機
会になつたりして。

み：ちょうど京セラ美術館でやつを取
り上げたらみんな行けるとか、
夏休み前に旅行先の日本神話の話書い
たら興味持つて行てくれるかな～と
か。一応趣味に走るけど、独りよがり
にはなりたくないから、読者の需要も
考えた。

雛：装飾もこだわつたよね。タイトル
の絵に天使がいたり、背景もすごい
凝つてるから、記事自体がまさに展覧
会みたいな感じで良かった。

み：確かにデザインも楽しんでできた
かな！



▲10月号「京都市京セラ美術館で西
洋絵画を楽しもう Part 2」

ノ：じゃあ次、編集長。
雛：いっぱい書きましたね。今年はやつ
ぱり表紙を頑張つたかな。4月号と
10月号を書いたけど。

み：かわいいよね。

雛：ありがとう♡ 読力でも、表紙につ
いて言及されて嬉しかった。今年は
絵を描くのが好きな人が集まつて
から、かなり高クオリティのものが作
れたな。例えば4月は黄色、5月は緑
みたいな感じで、ティストも毎月変え
たり、そういう違いを楽しみながら
受け取つてくれる人がいたんじゃない
かなとは思つてますね。

S：すごく尊敬します。



▲4月号表紙（左）と5月号表紙（右）。
カラー版はBACKNUMBERへGO！

（農・1 ジョースター）

ノ：記事はどうですか？
雛：12月号「結ぶ、つながる、だいご学園」は、私が今まで1番頑張った記事です。去年の夏にだいご学園の存在を知つてから、ずっと「いつかインタビューに行くぞ」って思つて。元々だいご学園は生協的にも取材してほしかったらしくて、生協ショップでも、12月から記事に連れて装飾をこだわってくれるみたい。生協との繋がりと、自分の興味とを繋げられて良かったです。初めて書くのが楽しいと思ったかもしない。

ノ：今まで苦痛だと思ってた？

雛：苦痛ではないんだけど、記事書くのってこんなに楽しいんだと思って。「だいご学園」は本当に心からやりたいと思ってた記事だったから、実際書けて本当に幸せやし、布教できるし、一石二鳥。

で：寝かせてた記事って美味しいよな。

雛：本当にそうですね。自分で試作している間もどんどん想像を膨らませて、やっと形にできたから。嬉しかったです。



▲12月に吉田ショップでおこなわれていた、だいご学園の装飾。

読者へ編

1回生に聞いてみた

ノ：1回生のstatは、実際入部して感じたこととかある？

S：そうですね、新歓の時と入った後で、良い意味でそのままというか、何も変わらなかったです。ただ、やっぱりスタイルに、面白にずっとやってるのかなっていうイメージはあって。

雛：確かにオンオフはめっちゃあるよね。

はみだし
すてーじ

NFは月曜日から始まってほしい
⇒分かります。奇跡の9連休はならずか……

S：雑誌作るのは自分には厳しいのかなとか、既存の編集部員の方々は何事もできぱきこなしてるとか思つてたんですけど、先輩方も意外と順調ではないし、困つたりすることもあつたりして。人が作つてるとか。

で：でもstatは、みんなの安心感の足元にいるから、大丈夫だよ。本当に。

S：締め切りギリギリの人がおつたりして。

雛：本当にそう！ 締め切りは守つてください。頑張りましょう。

ノ：来年度に向けてコメントある？

S：できるだけ現状維持を頑張つていきたいなと思っています。今危惧しているのは、今の1回生の中に表紙を描ける人がいるのかっていう。

雛：確かに表紙のクオリティーは本当に上がつてるからね。1回生で描きたい人がいればぜひ描いてほしいと思ってるけど、クオリティが上がりすぎたっていうのが逆に足枷になつてるようなら、ごめん。

で：表紙は別に写真とかでもいいからね。僕は写真派ですから。ぜひ写真も使ってください。みんなそれぞれの味があるので。

ノ：記事についてはどう？

S：京都の星が見えるところをピックアップして紹介したいとずっと思つてゐるんですけど、まだ足が動いてない。あとは歴史も好きなんで、面白い歴史上の事件とかあれば書きたいなと思っています。

ノ：お～楽しみにしてます！

S：あと今考つてるのは、らいふとか、もしくは編集部員への質問を読力で書いてもらって、それにはみだして答えるとかやると、より読者との距離感が近づくかなと。

雛：あー良いね！ はみだし一問一答みたいな。面白そう。

ノ：良いね。ぜひやってほしい。来年度が楽しみですね。

読者に一言！

ノ：自分も一読者でありファンだから、楽しんで読んでほしいに尽きますね。そのために我々は頑張つてたんですけど、先輩方も意外と順調ではないし、困つたりしてることもあつたりして。人が作つてるとか。

で：でもstatは、みんなの安心感の足元にいるから、大丈夫だよ。本当に。

S：締め切りギリギリの人がおつたりして。

雛：本当にそう！ 締め切りは守つてください。頑張りましょう。

ノ：来年度に向けてコメントある？

S：できるだけ現状維持を頑張つていきたいなと思っています。今危惧しているのは、今の1回生の中に表紙を描ける人がいるのかっていう。

雛：確かに表紙のクオリティーは本当に上がつてるからね。1回生で描きたい人がいればぜひ描いてほしいと思ってるけど、クオリティが上がりすぎたっていうのが逆に足枷になつてるようなら、ごめん。

で：表紙は別に写真とかでもいいからね。僕は写真派ですから。ぜひ写真も使ってください。みんなそれぞれの味があるので。

ノ：記事についてはどう？

S：京都の星が見えるところをピックアップして紹介したいとずっと思つてゐるんですけど、まだ足が動いてない。あとは歴史も好きなんで、面白い歴史上の事件とかあれば書きたいなと思っています。

ノ：お～楽しみにしてます！

S：あと今考つてるのは、らいふとか、もしくは編集部員への質問を読力で書いてもらって、それにはみだして答えるとかやると、より読者との距離感が近づくかなと。

雛：あー良いね！ はみだし一問一答みたいな。面白そう。

ノ：良いね。ぜひやってほしい。来年度が楽しみですね。

雛：確かにオンオフはめっちゃあるよね。

読者コメント返し編

10月号のオンライン読者カードにて、読者の皆様から「2025年度のらいふすてーじ」について意見や感想を頂きました。ここでは、皆様から頂いたコメントに対して、編集部員たちが「直接」返答します！
※ () 内はペンネーム

5月号表紙の白い服の女の子がかわいい！ ふんわりした髪と緑の瞳が良い！
あと、5月号や10月号の京セラ美術館の特集がよかったです。解説が読みやすくて、展覧会に行く前に読めば行きたくなるし、行った後に読めば「この絵はこう言つたんだ」とその場では理解しきれなかったことが理解できても楽しいです！ (たけのこ)

5月号の表紙は編集部もみんなお気に入りなんだよね。

やつたー！ 言つてほしいこと全部言つてくれてる(笑)
まさにその意図です。ありがとうございます！

旬なネタも取り入れつつ毎月無料で発行してるのは本当に凄いです！
そもそもっと当選してほしい！ ので毎日祈ります。 (生協コーヒー牛乳愛飲者)

こちらとしても当選してほしいとは思つてるんですけど……
確率的には5回に1回くらいで当たるのでぜひ頑張ってください！

表紙の作り込みがどんどん綺麗になっている気がします。 (DoraLove)

表紙が毎回素敵でした！ (梅ゆき)

ありがとうございます！

神のみぞ知るセカイの人が京大出身だったことに驚きました！ 10月号で初めてらいふすてーじを読んだのですが、新しい発見や知的好奇心をくすぐる記事はとても最高です。
また新たな発見をさせて下さい！ (飲むヨーグルト)

まさに望んでたコメントで嬉しい。新たな発見をしてほしいと思って書いてます！

出来すぎてサクラを疑うレベル。

京大生の生活と深く関わりがある話題が多く取り上げられていてよかったです。 (はるニキ)

我々も京大生の最前線として生活を送つてゐるわけだから、そこからできる関わりに言及してもらえるのは嬉しいですね。

今年も面白かったです。来年も楽しみにします。 (ビビビ)

来年も読んでくださいということで……ありがとうございます！

らいふすてーじ大好きです。編集部の皆様本当にいつもありがとうございます。これからも丁寧で親切なお仕事内容頑張ってください。応援しています。 (前髪長め)

こういうシンプルなコメントがなんだかんだあります。

はみだし
すてーじ

そろそろ別れの季節、友人とも、この学び舎とも。またいつか、会えることを祈つて
⇒願望：願わば叶う 大吉 (らいふのご愛読もありがとうございました。またお会いできることを願つております；編)